

げきだん・ふしきな卵 と マサカネ一座 の せんがわ劇場公演

新・不思議な卵 / 2018父帰る

— 今ここに新しい演劇の道が拓かれる —

9月8日 土曜日
13時から と 17時から
9日 日曜日
11時から と 15時から



協力: THEアート・プロジェクト 多文化読み聞かせ隊

2018せんがわ劇場公演(京王線仙川駅より徒歩4分)
マサカネ一座 と げきだん・ふしぎな卵 公演

2018 父帰る / 新・不思議な卵 二本立て

「2018父帰る」作・演出:米倉日呂登、出演:助川汎、尾鼻隆、金島清史、他

「不思議な卵」原作・米倉テルミ、脚本・演出:米倉日呂登、出演:げきだん ふしぎな卵

9月8日(土) 13:00 / 17:00

9日(日) 11:00 / 15:00 開演(30分前会場)

今年には二本の新作を上演いたします。一本目は今年の二月に旗揚げした、「げきだん・ふしぎな卵」による「新・不思議な卵」です。この劇団は「マサカネ一座」の衛星劇団です。2017年の5月から梶が谷のカフェイズミで活動を始めました。「マサカネ一座」一同で参加し、応援指導しています。ここは市民劇団ですが、ただの市民劇団ではありません。質の高い演劇を目指し、病んだ現代人を癒やす、慰問劇団を目指しています。

二本目は「マサカネ一座」の上記4人による「2018父帰る」を御覧に入れます。

一座の公演は、2013年世田谷中学校旧体育館での「不思議な卵」を最後に、休止状態でした。しかしそれ以降、米倉の死後も主に4人で勉強を続けてきました。

この公演時には、米倉齊加年が没して五年目に入ります。あっという間の五年目です。そしてこの五年目というのは私達にとって大きな意味を持っています。米倉齊加年の最後の稽古となった世田谷中学校で語ったのは、「テルミと『絵のない絵本』は仕上げる」そして「『父帰る』だけは続ける」という言葉でしたが、「それでもあと五年だろうな」と付け足しました。米倉齊加年が話したかったのは…これまでよく付いてきてくれた、あと五年はガンバレが…一座の終活でした。私たちは十年はと…。

「マサカネ一座」の四年間は、昔の米倉齊加年の名前での活動でした。ですがその間に明日に向け、今の米倉齊加年(マサカネ一座)の芝居を模索してきました。

この公演が答えとは申しません。現状は、その日暮らしの譏りを免れません。

しかし私達は、日々芝居に向き合ってきました、そして二本の芝居が生まれました。

四人以外にも一座と共に歩んできた同志が、米倉齊加年の芝居を学ぶ新たな仲間が、参加します。そして「げきだん・ふしぎな卵」の楽しい仲間達がお目見えます。どうぞお誘い合わせの上、劇場にお越し下さいますよう、お願い申し上げます。

「マサカネ一座」は、これまで以上に完成度の高い舞台を御覧に入れます。

「げきだん・ふしぎな卵」も質の高い芝居を御覧に入れますが、市民劇団です。

入場料は 500円 とさせていただきます。

この公演は皆さまのご志援に頼りする公演です。どうか私達の活動にご志縁ください。会場には志縁箱を設置いたします。また、以下の振込先へのご志援も受け付けております。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

なお、この公演のお席には限りがございます。事前のお申し込みをお願いします。

※以下に、日時、お名前、連絡先 をお書き込みの上お申し込み下さい。

Fax:044-330-1758 /E-mail:zuanshya@gray.plala.or.jp/カフェイズミ;044-852-3034

志縁金振り込み先 みずほ銀行 経堂支店 普通 0487536 (ユ)マサカネズアンシャ

ゆうちょ銀行 当座〇一九店 450747 (ユ)マサカネズアンシャ

※ゆうちょ銀行でのお振り込みの方には振り込み用紙を郵送いたします。送り先をお知らせ下さい。

志縁 青木秀臣 赤松良子 宇野重吉 顕彰市民の会 偕成社 カフェイズミ 港屋
武者小路実篤会 モランボン株式会社 もろさわ ようこ 李恢成 Cast Plus (あいえお順)